

# 平成29年度TMG本部 看護局研修計画

## 【教育方針】

看護・介護職者のキャリア開発を支援し、多様化する地域住民のニーズに応えうる人間性豊かな人材育成を目指す

## 【平成29年度教育目標】

1. 自律した専門職を育成する
2. 自律した管理者を育成する
3. 看護・介護を研究的視点で追求できる人材を育成する

### 【新人研修】

研修名	内容
新人フォロー研修 ・アサーティブ コミュニケーション ・半年後の振り返り とプロ意識醸成	・アサーティブネスのマインド (心構え)と目指すもの ・組織で成果を出すために必要なことを考える ・プロフェッショナル人材に求められる要件

### 【ラダーレベルⅢ-1】

研修名	内容
ファシリテーション 実践編	・ファシリテーションとは？ ・ファシリテーションのスキルが活用できる「場」と「対象」 ・事例検討の具体的な進め方 ・ファシリテーターとして心掛けること
アサーティブ コミュニケーション	・アサーティブネスとは ・コミュニケーションパターン ・アサーティブネスのマインド(心構え)と目指すもの
フォロワーシップ	・立場を変えて考える ・中堅職員として自分の役割を認識する ・上司の判断軸を理解する ・フォロワーとしての問題発見・解決 ・目標管理に活かす
看護記録(2日間)	・概論-NANDA-NIC-NOCとは ・事例展開-グループワーク

### 【ラダーレベルⅣ】

研修名	内容
社会的動向と TMG	・社会的動向とTMG・看護局 ・組織の成り立ちと構造 ・組織における自己の役割
論文クリティーク	・クリティークとは何か？ ・論文クリティークとクリティカルシンキング ・論文クリティークで研究プロセスを学ぶ ・臨床実践における論文クリティークの意義
リーダーのタイム マネジメント	・組織のタイムマネジメントについて考える ・人員適正配置と業務分担 ・部下に対する適切な行動管理 ・部下の教育とスキルアップ ・業務の見直し～組織の無駄をなくす業務改善
論理的でわかり やすい文書の書 き方	・主張と論拠を整理する ・論理的に文章を組み立てる ・相手に「伝わる」文章にするためのポイント

### 【ラダーレベルⅠ】

研修名	内容
看護局分科会 新入職者オリエン テーション	・新社会人に期待すること ・TMG看護局紹介 ・先輩職員の体験より学ぶ
看護記録	・看護記録の法的責任について ・記載基準について ・事例を基にグループワーク

### 【ラダーレベルⅡ-1】

研修名	内容
タイムマネジメント	・時間管理について考える ・自分のワークスタイルを知る
メンバーシップ	・組織の求めるビジョンを考える ・チームワークについて
看護倫理基礎編	・看護倫理とは(倫理綱領) 倫理と道徳

### 【ラダーレベルⅢ-1、Ⅲ-2】

研修名	内容
「教える」を デザインする	・プレゼンテーションマインド ・プレゼンテーションの理論 ・相手に合ったデザイン ・内容構成の基本

### 【ラダーレベルCN-1・2】

研修名	内容
認定看護師 キャリア開発	・組織での認定看護師としての役割発揮 ・多職種、上司、同僚も含む協働
認定看護師 活動報告会	・分野別発表 ・活動チーム別発表

### 【ラダーレベルⅡ-2】

研修名	内容
研究を マスターしよう	・研究計画書 ・文献検索
伝達力アップ！ ～分かりやすい 説明の仕方～	・意図の明確化 ・内容の整理 ・話す技術 ・演習
看護倫理事例編	・看護倫理の問題点 ・看護業務に直面する倫理的課題 事例検討・グループワーク
リーダーシップ	・求められる役割 ・リーダーの「人間力」
ファシリテーション 基礎編	・ファシリテーションとは？ ・場のデザインスキル

### 【ラダーレベルⅢ-2】

研修名	内容
アサーティブ コミュニケーション	・こうした場合どうする？ ・アサーティブであるということ ・コミュニケーションとは ・ケーススタディ
リーダーシップ	・リーダーとしての役割認識 ・感情をマネジメントする安定力 ・組織の判断軸を考えて決める判断力
問題発見・解決の 進め方	・問題解決のポイント ・現状調査・分析の方法 ・解決策の立案のポイント ・問題発見・解決演習 ・日常業務の問題発見・解決企画案作成

### 【ラダーレベルⅤ】

研修名	内容
評価者のための 手法	・評価者としての役割認識 ・人事評価の意義と重要性 ・評価における面談の進め方 ・面談時のコミュニケーションの基礎 ・実践ケーススタディ

### 【副部長・部長】

研修名	内容
教育計画の構築	・社会で求められるスキル ・人格の成長 ・主体性の発揮とは ・チームの人間力を上げる



【専門分野研修】

研修名	内 容
認知症のケア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・回想法</li> <li>・ユマニチュード他</li> </ul>
感染管理 ■環境整備について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院/施設の患者/利用者周囲の環境整備の考え方</li> <li>・環境清掃の種類と方法</li> <li>・高頻度接触部位と低頻度接触部位とは</li> <li>・スボルディングの分類と消毒薬の種類考え方</li> </ul>
高齢者の予防的スキンケア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・脆弱な皮膚のスキンケア</li> </ul>
緩和ケア ■エンド・オブ・ライフケアベーシック講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エンド・オブ・ライフケアにおけるコミュニケーションと倫理</li> <li>・看取りのケア</li> <li>・グリーフケア</li> </ul>
摂食嚥下障害看護 ■いつまでもおいしく安全に食べるために	<ul style="list-style-type: none"> <li>・摂食嚥下の基礎知識</li> <li>・脳卒中の摂食嚥下</li> <li>・認知症の摂食嚥下</li> </ul>
糖尿病・透析看護 ■糖尿病看護	<ul style="list-style-type: none"> <li>・糖尿病の病態と分類</li> <li>・糖尿病の合併症</li> <li>・糖尿病の治療(食事・運動・薬物療法)</li> <li>・糖尿病看護の基本的な考え方</li> <li>・患者支援の実際</li> </ul>
ELNEC-J3日間(エンド・オブ・ライフケア) ■全日程出席者には修了書授与	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラム</li> <li>M1: エンドオブライフケアにおける看護</li> <li>M2: 痛みのマネジメント</li> <li>M3: 症状マネジメント</li> <li>M4: エンドオブライフケアにおける倫理的問題</li> <li>M5: エンドオブライフケアにおける文化への配慮</li> <li>M6: コミュニケーション</li> <li>M7: 喪失・悲嘆・死別</li> <li>M8: 臨死期のケア</li> <li>M9: 高齢者のエンドオブライフケア</li> <li>M10: 質の高いエンドオブライフケアの達成</li> </ul>
中国人看護師入職前研修(3日間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の文化と習慣の理解</li> <li>・先輩の経験談</li> <li>・日本の医療制度</li> <li>・マナー(1)礼儀・作法</li> <li>・マナー(2)電話応対</li> <li>・就業規則</li> <li>・感染防止</li> </ul>

【介護職員】

研修名	内 容
介護研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究を理解する</li> <li>・研究計画書が理解できる</li> </ul>
ICF(国際生活機能分類)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICFとは</li> <li>・介護とICF</li> </ul>
介護倫理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護倫理とは(倫理綱領)</li> <li>・介護倫理の問題点</li> <li>・介護業務に直面するジレンマ</li> </ul>
利用者の機能と評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価指標とICFステージング</li> <li>・演習</li> </ul>
ICFステージングの導入に向けて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICFステージについて</li> </ul>
メンバーシップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的動向</li> <li>・TMG概要・看護局概要</li> <li>・組織の求めるビジョンを考える</li> <li>・チームワークで利用者様に伝えるために</li> <li>・「きく」の意味</li> <li>・「聴く」スキル=「傾聴力」、</li> <li>・「訊く」スキル=「質問力」のポイント</li> </ul>

【キャリア採用者】

研修名	内 容
活かそう! あなたのキャリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的動向</li> <li>・TMG概要・TMG看護局概要</li> <li>・アサーティブネスとは</li> <li>・自己表現の権利と責任</li> </ul>

【看護補助者・クラーク】

研修名	内 容
リーダーシップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的動向</li> <li>・TMG概要・看護局概要</li> <li>・チームのなかでのリーダーの役割</li> </ul>
メンバーシップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的動向</li> <li>・TMG概要・看護局概要</li> <li>・組織の求めるビジョンを考える</li> <li>・チームワークで患者様に伝えるために</li> <li>・「聴く」スキル=「傾聴力」、</li> <li>・「訊く」スキル=「質問力」のポイント</li> </ul>

【実践報告会】

研修名	内 容
主任実践報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動計画書に沿って実践内容を報告する</li> </ul>
係長実践報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動計画書に沿って実践内容を報告する</li> </ul>
課長実践報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動計画書に沿って実践内容を報告する</li> </ul>
推薦コース実践報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動計画書に沿って実践内容を報告する</li> </ul>

【在宅】

研修名	内 容
訪問看護症例検討会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ステーションケース発表</li> <li>・グループワーク</li> </ul>
マナー研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電話対応、来客対応の基本</li> <li>・文書の書き方</li> <li>・メール作成の基本</li> </ul>



## 平成29年度TMG本部 看護局研修計画（介護）

### 【教育方針】

看護・介護職者のキャリア開発を支援し、多様化する地域住民のニーズに応える人間性豊かな人材育成を目指す

### 【平成29年度教育目標】

1. 自律した専門職を育成する
2. 自律した管理者を育成する
3. 看護・介護を研究的視点で追求できる人材を育成する

### 【介護職員】

研修名	ねらい	内 容	対象
介護研究	研究の意義や目的を理解し、研究チームの一員として取り組むことができる	・研究を理解する ・研究計画書が理解できる	研究に取り組む予定の方
ICF (国際生活機能分類)	ICFの概念と介護領域におけるICFの考え方を理解する	・ICFとは ・介護とICF	Ⅱ-1
介護倫理	倫理綱領を通して、日常の介護を考える	・介護倫理とは(倫理綱領) ・介護倫理の問題点 ・介護業務に直面するジレンマ	Ⅱ-1
利用者の機能と評価	利用者の機能の評価をケアに活かす	・評価指標とICFステージング ・演習	Ⅱ-2以上 (看護師・リハ・相談員も可)
ICFステージングの導入に向けて	介護記録にICFを取り入れ活用できる	・ICFステージについて	NO.31を受講した方限定
メンバーシップ	組織及びチームの一員としての意識を高めるとともにコミュニケーション力向上を図る	・社会的動向 ・TMG概要・看護局概要 ・組織の求めるビジョンを考える ・チームワークで利用者様に応えるために ・「きく」の意味 ・「聴く」スキル＝「傾聴力」、「訊く」スキル＝「質問力」のポイント	介護員・ 介護補助者

### 【実践報告会】

研修名	ねらい	内 容	対象
主任実践報告	学んだことを現場にどう活用し、成果に導いたかを発表し共有する	・行動計画書に沿って実践内容を報告する	28年度昇進主任
係長実践報告	学んだことを現場にどう活用し、成果に導いたかを発表し共有する	・行動計画書に沿って実践内容を報告する	28年度昇進係長
課長実践報告	学んだことを現場にどう活用し、成果に導いたかを発表し共有する	・行動計画書に沿って実践内容を報告する	28年度昇進課長
推薦コース実践報告	学んだことを現場にどう活用し、成果に導いたかを発表し共有する	・行動計画書に沿って実践内容を報告する	28年度推薦コース受講者

### 【専門分野】

研修名	ねらい	内 容	対象
認知症のケア	認知症のケアについて学ぶ	・回想法 ・ユマニチュード他	全ラダー
感染管理 ■環境整備について	TMGの標準予防策における環境整備(清掃)について理解する	・病院/施設の患者/利用者周囲の環境整備の考え方 ・環境清掃の種類と方法 ・高頻度接触部位と低頻度接触部位とは ・スポルディングの分類と消毒薬の種類と使い方	Ⅲ
高齢者の予防的スキンケア	高齢者の皮膚の特徴を知り、適切な予防的スキンケアを習得する	・脆弱な皮膚のスキンケア	WOCN不在の施設のⅡ以上
摂食嚥下障害看護 ■いつまでもおいしく安全に食べるために	高齢者に多い認知症・脳卒中患者の食支援について、知識と技術を習得する	・摂食嚥下の基礎知識 ・脳卒中の摂食嚥下 ・認知症の摂食嚥下	全ラダー